

## 第47回番組審議会の審議結果について

1. 開催年月日 令和2年2月14日（金）11時～
2. 開催場所 (株) ケーブルメディア四国 会議室
3. 出席委員 (7名 出席)

灘波	順一	委員長
加藤	昭彦	副委員長
長谷	有美	委員
合田	恵梨子	委員
国東	宣之	委員
北川	大輔	委員（北川つき子氏代理）
4. 会社側出席者

藤網	郁夫	（取締役社長）
伊勢	達哉	（放送部長）
天雲	光紀	（放送部編成制作課課長）
大池	智子	（放送部編成制作課）
溝淵	剛正	（放送部編成制作課）

## 5. 審議結果

- (1) 議案の自主制作番組 ①「行ってみ四い国 ～なぜこんなに愛される！？ 新屋島水族館ヒミツのひみつ！～」、自主制作番組 ②「塩江と育むサーカス～トップエアリアルパフォーマー吉田亜希～」について担当者より番組制作の意図などを説明した後、番組を視聴して頂いた。各委員からの主な意見は次のとおり。

### <主な意見>

#### ①「行ってみ四い国 ～なぜこんなに愛される！？ 新屋島水族館ヒミツのひみつ！～」

- ・屋島水族館の楽しみ方や水槽に関する技術が伝わり、見ていて楽しく、子どもと一緒にいきたいと感じる番組だった。
- ・裏方の人が出ることにより親しみが増し、スタッフの熱量も伝わったので、また水族館に行ってみたい。
- ・3人のキーパーソンのキャラクターが良かった。地域活性には、よそ者・ばか者・若者をとりあげると成功するというが、3つの切り口とそれぞれのキーパーソンがうまく組み合わさっていた。
- ・存続をめぐる高松市も大変だったが、頑張っている姿をとりあげてもらってありがたい。
- ・小学生とのかけあいに違和感がある。しっかりと話ができる小学生だったので、一人で自由にしゃべらせたほうがよかった。
- ・カサを持つアザラシが有名なので、それも見せればよかった。
- ・最後のアクセスマップはメモを取る暇はないので、QRコードを入れるなどアクセス保存ができるように工夫してほしい。
- ・新屋島水族館が、今後どうなっていくのか、この小学生の成長と重ねてみてみたいので継続して取材してほしい。

#### ②「塩江と育むサーカス～トップエアリアルパフォーマー吉田亜希～」

- ・映像勝負の見て楽しめる番組で、見入ってしまった。
- ・サーカスの裏の部分をわかりやすく伝えており、地域の人とのやりとりが暖かくて良かった。
- ・高松市としても協力しているため、番組で取り上げてもらえることはありがたい。
- ・吉田さんや瀬戸内サーカスファクトリーと地域のつながりがわかった。
- ・時間（尺）が少し長い
- ・移住者して頑張る人、香川で頑張る人をシリーズ化してほしい。
- ・吉田さんやエアリアルのことがよくわかった反面、吉田さんを通じての塩江との繋がりがわかりにくい。
- ・練習と本番の区別をもう少しはっきりと、本番をもっと明るく見せるなどメリハリがあればなお良かった。
- ・地域に上手く溶け込んでいることがよく分かったが、地域の課題や問題点にも焦点をあて見せてほしい。
- ・紹介した活動を維持させるために何が大切で必要かを問題提起することで、視聴者に考えてもらうことも必要ではないか。
- ・瀬戸内サーカスファクトリーの問題(例えばスポンサー募集など)を知らせ、視聴者が応援できるような工夫をしてもらいたい
- ・現代サーカスとサーカスの違いを知らない人も多い、現代サーカスとはどんなものかをもっと詳しく見せてほしい。

## 議案 自主制作番組①

番組タイトル	行ってみ四い国「なぜこんなに愛される!? 新屋島水族館ヒミツのひみつ!」
放送期間・番組尺	2019年9月1日～30日放送、14分番組
番組コンセプト	交流人口の拡大を目的に、四国4県のCATV局が持ち回りで制作している「行ってみ四い国」。エリアおすすめのスポットや見どころを紹介している。今回は、存続で揺れ、段階的リニューアルで継続が決まった新屋島水族館にスポットをあて、その魅力を県外の人には広く知ってもらい、地元の人には再発見してもらいたいと制作した。
番組内容	新屋島水族館の魅力を伝えるために、水族館の裏のウラまで知る3人のキーマンが登場。  1人目 イルカと息の合った演技を披露 水族館の名物キャラを演じる飼育員 2人目 イルカライブで演出を手掛ける東京在住の演出家 3人目 新屋島水族館に魅せられ、毎週末通い続けているという市内小学生  3人がそれぞれ思う新屋島水族館の魅力を熱く語ってもらい、なぜこんなに愛されているのかヒミツを探った。
出演者	MC 森朋子(CMS)、水族館飼育員、イルカライブ演出家、水族館大好き小学生
プロモーション	弊社チャンネルガイド、ホームページ、コミュニティチャンネルの告知など
今後の動き	段階的リニューアルが全て終わった頃に、改めて取材に伺う予定 また、水族館と一緒に何か制作できないかと思案中

## 議案 自主制作番組②

番組タイトル	塩江と育むサーカス ～トップエアリアルパフォーマー吉田亜希～
放送期間・番組尺	2019年12月23日～12月31日・29分
番組コンセプト	<p>「香川から世界へ」のコンセプトを掲げ、現代サーカスの普及に力をいれている瀬戸内サーカスファクトリーが、2019年4月から塩江町上西地区にアーティスト滞在施設「Shiono-Air」を設け、様々なパフォーマーの創作練習場として旧上西小学校跡地を活用している。上西地域住民も地域おこしの起爆剤になることを期待し、瀬戸内サーカスファクトリーの活動を応援し後押しをしていることから、番組ではパフォーマー吉田亜希さんのアーティスト活動を追いながら地域住民との交流の様を描く。</p> <p>また番組を制作する中で、吉田亜希さんの人柄やパフォーマーとしてのストイックな部分が視聴者にわかりやすく感じてもらうように、全編通して説明部分以外のナレーションはなるべく少なくして、映像と現場音を重視した編集に挑戦。</p>
番組内容	<p>アーティスト滞在施設「Shiono-Air」のプロジェクトをきっかけに国内や海外で活躍しているエアリアルパフォーマーの吉田亜希さんが香川県に移住してきた。上西地区で日々、地域住民の応援してくれる温かさを感じながらエアリアルの技術の向上や独特の世界感を表現する創作活動に没頭していく。</p> <p>一方、地域住民も吉田さんの練習風景を見学に訪れたり日常会話を楽しんだりしていく中で吉田さんの人柄に惹かれていき、サーカスと地域が次第に一つになっていく様子を紹介。</p>
出演者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・吉田亜希さん・田中美知子さん（瀬戸内サーカスファクトリー代表）</li> <li>・上西地区民</li> </ul>
プロモーション	弊社チャンネルガイド、ホームページ、コミュニティチャンネルの告知など
今後の動き	<p>今回ナレーションを少なく映像と現場音を重視した結果、ナレーション不足で分かりづらい箇所もあったが、番組後半は吉田さんの人柄をイメージ通りに伝えられたと思う。</p> <p>今後もナレーションの必要な箇所を見極め、なるべく映像だけで伝わるような編集に挑戦していく。</p>